

1. 目的

- ・在宅医療における訪問診療や訪問看護，介護サービス等の実際を，病院の職員に知ってもらうことで，在宅での患者の療養，生活について具体的なイメージを持つことができる。
- ・患者の円滑な入退院に向けて，在宅チームとのシームレスな連携の促進を図る。

2. 今年度の開催状況

◆内容 グループワーク（ワールドカフェ形式）

テーマ「スムーズな在宅への移行と急変時等の病院との連携」

～どのような情報があったら良いでしょうか？～

ミニレクチャー

在宅療養への移行時における連携について/柏市医師会副会長 古賀先生

開催病院	開催日	参加者	満足度 10段階(10＝満足)
柏たなか病院	令和7年10月2日(木) 19時～20時30分	70名 病院34名:医師 7名,歯科衛生士1名,薬剤師2名,看護師10名,リハビリ職7名,MSW7名 在宅36名:医師 7名,歯科医師2名, 歯科衛生士1名, 薬剤師3名,訪問看護師8名, 管理栄養士2名,リハビリ職7名, ケアマネジャー5名, 事務職1名	病院：平均：9.5 在宅：平均：9.4
柏市立柏病院	令和8年2月5日(木) 19時～20時30分	54名 病院26名:医師8名,薬剤師3名, 看護7名, 管理栄養士3名,リハビリ職2名,MSW3名 在宅28名:医師7名,薬剤師4名, 訪問看護師6名,管理栄養士3名, リハビリ職2名,ケアマネジャー4名,MSW2名	病院：平均：9.2 在宅：平均：9.1

◆結果 実施直後アンケートより

柏たなか病院	在宅チーム
・在宅の現場の意見を聞くことができた。 ・どのような流れで在宅へ移行できるかを知る事ができ、イメージすることができた。 ・病院側と在宅側で患者様に対する思いは一緒ということが再確認できた。	・病院、在宅での困っていることを共有できた。 ・病院側も在宅側も意見の差はなく患者様を思う気持ちに変わりはなかった。 ・病院側の意見が知る機会が出来てよかった。
柏市立柏病院	在宅チーム
・今まで考えていたより在宅に移行のハードルが低くなった。 ・各職種がそれぞれ何の情報が欲しいのか具体的に意見を交換できた。 ・在宅の必要な情報を知ることができた。 ・職種によって気にするところが違うこともあるが、患者さん思いのところは似ているなと思った。	・それぞれの立場の考え方を共有できた。 ・最初からこれからどうするかを全員で話すことが重要だとわかった。 ・それぞれが求める情報、大切にしていることが共有できた。 ・様々な職種からの意見がきけて勉強になった

3. 次年度の方方向性

市内全域の医療機関に意向確認し開催病院を検討